

分北小のリーダー

校長 大野 郁子

木々の緑が日に日に濃くなり、さわやかで気持ちのよい季節になりました。

私が分水北小学校に赴任して1か月余り経ちました。学校の周りにも通勤途中にも、大河津分水によって守られている広い田んぼが広がっています。冬の間休んでいた田んぼが、耕され、水を張られ、あぜがきれいに整えられ、農家の方によって息を吹き込まれるように、輝く水田に変わっていく様子が本当に見事だと思います。そこに、小さな苗が植えられ、日々の世話によってすくすくと育ち、やがて黄金の稲穂が頭を垂れる…。人が汗水を流し、手を加えることによって土地が価値あるものと変わり、大切なお米が作られるということがとても感慨深いです。素敵な土地に赴任させていただいたことを日々うれしく感じています。

さて、4月から、子どもたちには目標を意識して過ごすことの大切さを伝えてきました。始業式では、教育目標の「なかよく かしこく たくましく」について、5月の青空集会（全校集会）では、自分たちが作った学級目標を意識して日々の活動に取り組む大切さについて話しました。夢や目標は、その人の指針になったり、やる気に火を灯したりする大切なものです。学級目標は教室の飾りではなく、学級全員の共通認識とならなければ意味がありません。集会の中で、私が「学級目標を覚えていて、言えるかな？」と子どもたちに問うた時の6年生の姿が素晴らしかったです。「全員が言えます。みんなで言わせてください。」と言い、その言葉通り、自信をもって発表してくれたのです。6年生の学級目標は「協力！責任！努力！ 分北のリーダーとして 最高の思い出をつくる」です。6年生は忙しいであろう日常の中で、日々下学年をやさしくリードしている姿があります。一つ一つの行事に主体的に取り組む姿があります。彼らの姿からは、「小学校生活最後の1年を大切に全力でやり抜く」という強い思いが感じられます。この13人のリーダーに導かれ、77人の子どもたちが伸び伸びと活動をしています。6月7日（土）午前に行われる運動会には、そんな子どもたちの姿を見にぜひお越しください。お待ちしております。

